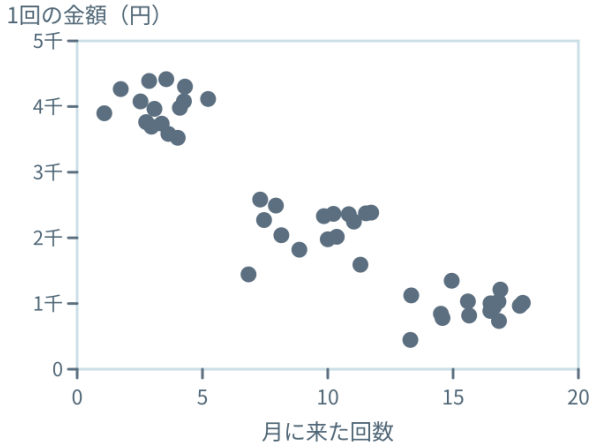
教師なし学習（似たもの同士でグループに分ける）

正解のないデータから、AIは何を見つけるのだろう

1 正解のないデータ

お店の買い物の記録（架空。1人が1つの点）

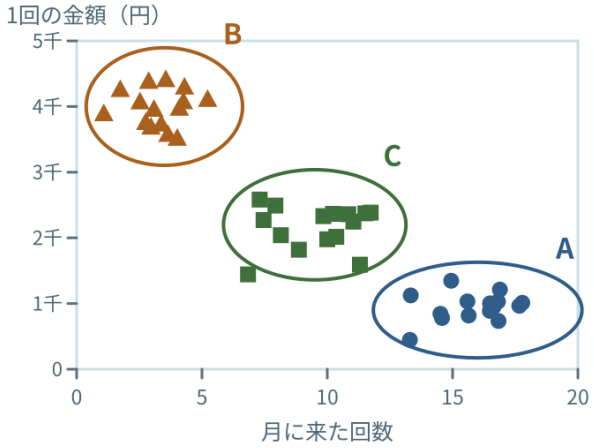


AI

2 近いもの同士を集める

3 グループが見つかる

AIは、グループの意味までは分からない



4 人が名前を付けて使う

A よく来て、
● 少しずつ買う
→ 新しい商品の案内

B たまに来て、
▲ まとめて買う
→ まとめ買いの案内

C 中くらい
■ → ほかの案内

教師あり学習とのちがい

教師あり学習

正解（ラベル）付きの例から学び、新しいものに答える

教師なし学習（クラスタリングなど）

正解がない。似たものを集めて、グループを見つける

気をつけること

- グループの数や意味は、人が考える
- どの特徴で見るかで、分け方が変わる
- 分けた結果で、人を決めつけない

（この図の特徴：月に来た回数と1回の金額）

※ データは架空。点の位置は説明のために作った例。